

## 【2020年3月新着図書案内】

# 情報コーナーに新しい図書が26冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『ともに悲嘆を生きる グリーフケアの歴史と文化』	島藺進著	朝日新聞出版	2019年	114.2シ オレンジ	近代日本における悲嘆の経験や表現の歴史を概観し、今、グリーフケアが求められているのはなぜか、現代のグリーフケアが目指すものは何かということについても理解を深める。
『「かわいい」のちから 実験で探るその心理』	入戸野宏著	化学同人	2019年	140.7ニ オレンジ	「かわいい」とは何か。人間の心の仕組みや法則を実験によって明らかにする実験心理学という学問分野を紹介し、その立場から「かわいい」について論じる。
『喪失学 「ロス後」をどう生きるか？』	坂口幸弘著	光文社	2019年	141.6サ オレンジ	死別、離婚、失業、病気…。人生において誰もが経験する様々な喪失に関して、そもそも喪失とは何かを理解し、想定される喪失とどのように向き合っていくべきかについて考える。
『「風の電話」とグリーフケア —ここに寄り添うケアについて—』	矢永由里子、佐々木格編著	風間書房	2018年	146.8ヤ オレンジ	岩手県大槌町の浪板の丘に立つ電話ボックス「風の電話」。そこを訪れる人たちの経験から見えてくるものを整理し、風の電話の活動を通じたグリーフケアの在り方について検討する。
『定年女子 60を過ぎて働くということ』	岸本裕紀子著	集英社	2019年	159.4キ オレンジ	同じ組織で働き続ける、新しい仕事に挑戦するなど、様々な形で社会とかかわっている定年女子たちの生の声と、定年女子予備軍へのアドバイス。
『市川房枝 女性の一票で政治を変える』	伊藤康子著	ドメス出版	2019年	289.1イ アオ	女性の生きにくい時代を、人間らしく生きやすい時代に変えようとした市川房枝。女性の社会的地位向上・民主主義確立のために闘ったその生涯を明らかにする。
『女性のいない民主主義』	前田健太郎著	岩波書店	2019年	312.1マ アカ	「政治」「民主主義」「政策」「政治家」という4つのテーマを取り上げ、ジェンダーの視点を導入することの意義を浮かびあがらせる、政治学の入門書。
『地方を変える女性たち カギは「ビジョン」と「仕組みづくり」！』	麓幸子著	日経BP社	2018年	318.6フ アカ	人口減少、産業衰退、若者流出…。地方が直面する様々な課題に対して果敢に挑戦し、変革を起こす女性たちの活動や実績を紹介するインタビュー。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『おんなたちは鬼になる 消費者運動、原発、平和』	富山洋子、神田浩史著 ロシナンテ社編	解放出版社	2019年	318.8ト アカ	市民運動の現場に身を置いてきた著者による、足尾銅山の鉱毒に対して闘った人々や原発事故に関する記述などを掲載。
『SDGsを学ぶ —国際開発・国際協力入門』	高柳彰夫・大橋正明編	法律文化社	2018年	333.8タ アカ	SDGs(持続可能な開発目標)とは何か。その理解を広めるとともに、誰一人取り残さないという理念や人権、ジェンダー平等を踏まえつつ、SDGsを取り巻く諸問題を説明する。
『働きやすさを本気で考えたら、 会社の売上が5倍になりました。 —女性9割・子育てスタッフ6割で実現する 働き方改革』	雅楽川陽子著	同文館出版	2019年	336.4ウ アカ	女性が長く・いきいきと働けるしくみを形にした女性社長が、女性の職場ならではの課題と解決法を伝授する。
『日本の未来は女性が決める!』	ビル・エモット著 川上純子訳	日本経済新聞 出版社	2019年	366.3ピ ミズイロ	多種多様な分野、とりわけ男性中心的で、男性のような働き方が求められ、女性蔑視が根強い分野で活躍する日本人女性22人へのインタビュー。
『イラクの女性たち —平和構築におけるジェンダー—』	円城由美子著	晃洋書房	2019年	367.2エ ミドリ	米国が女性の解放を謳ったイラク戦争。占領統治期に女性がいかに扱われたのか、扱われる傾向があるのかという問題について、調査・論究する。
『WOMEN(ウイメン) 女性たちの世界史 大図鑑』	ホーリー・ハールバート 他監修 戸矢理衣奈[日本語版監修]	河出書房新社	2019年	367.2ル ミドリ	先史から現代まで、家庭、育児、職業、政治、戦争、科学、芸術など様々な視点から女性たちの歴史を見渡したヴィジュアル図鑑。
『よかれと思ってやったのに 男たちの「失敗学」入門』	清田隆之著	晶文社	2019年	367.5キ ミドリ	女性たちからの男性に対する不満や疑問を紹介しながら、男性が抱える問題点について考える。「男らしさ」に関する研究者との対談も収録。
『介護する息子たち 男性性の死角とケアのジェンダー分析』	平山亮著	勁草書房	2017年	367.5ヒ ミドリ	息子としての男性とはどのような存在か、どのような存在として理解されているのか。「男」というジェンダーに真正面から取り組む著者が、親を介護する男性の経験を通して考察する。
『シングル単位思考法でわかる デートDV予防学』	伊田広行著	かもがわ出版	2018年	367.6イ ギン	恋愛関係にとどまらず、親子関係や先輩後輩関係、友だち関係などにも応用できる「シングル単位」という考え方で、デートDVを説明する。
『虐待・親にもケアを 生きる力をとりもどすMY TREE プログラム』	森田ゆり編著	築地書館	2018年	367.6モ ギン	子供虐待という行動に対して、感情、身体、理性、魂のすべてに働きかけるMY TREE プログラム。その開発者が、思想と技法、ファシリテーター人材育成までを語る。
『ルポ シニア婚活』	篠藤ゆり著	幻冬舎	2019年	367.7シ ピンク	シニア世代の婚活とはどういうものか、パートナーを得たことで人生はどう変わったか。また、婚活の方法やトラブルを避けるための注意など、役立つ情報も提供する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『日本と世界のLGBTの現状と課題 —SOG Iと人権を考える』	LGBT法連合会編	かもがわ出版	2019年	367.9エ オレンジ	2018年に開催されたシンポジウム「SOG Iは今？—歴史と国際から見る今後」における報告・討論をもとにした1冊。
『絶望しないための貧困学 ルポ 自己責任と向き合う支援の現場』	大西連著	ポプラ社	2019年	368.2オ ピンク	日本人の6人に1人が相対的貧困状態にあるとされる現在、貧困とどう向き合い、乗り越えていけばいいのか。誰の身にもふりかかり得る貧困の実態を知り、考え、行動するために。
『家族のためのユマニチュード “その人らしさ”を取り戻す、優しい 認知症ケア』	イヴ・ジネスト、 ロゼット・マレスコッティ、 本田美和子著	誠文堂新光社	2018年	369.2イ ピンク	「人は、そこに一緒にいる誰かに『あなたは人間ですよ』と認められることによって、人として存在することができる」というユマニチュードの哲学による介護の方法を紹介する。
『ひとりで暮らす、ひとりを支える フィンランド高齢者ケアのエスノグラフィー』	高橋絵里香著	青土社	2019年	369.2タ ピンク	フィンランドのとある自治体「群島町」を舞台に、5つの章(風土、家族、地域、自由、記憶)から高齢者ケア制度を描き出すエスノグラフィー(民族誌)。
『災害・支援・ケアの社会学 —地域保健とジェンダーの視点から』	板倉有紀著	生活書院	2018年	369.3イ ピンク	災害とジェンダーに着目し、自然災害の被害とニーズを、地域単位の被災者ケアという問題に即して検討するとともに、保健師という担い手の職能の可能性を提起する。
『もう「女の家事」はやめなさい —「飯炊き女」返上が家族を救う』	佐光紀子著	さくら舎	2019年	590.4サ キイロ	「家事は女性が」「家事はきちんと」と考え一人で抱え込むことや、夫・子供の尻拭いという気持ちから自らを解放し、上手に家事を手放すための暮らしの見直し方。
『親の介護をしないとダメですか？』	吉田潮著	KKベストセラーズ	2019年	916ヨ チャイロ	介護を担う母の限界を目の当たりにして、父の老人ホーム入居を決めた著者が、どうやって人は老化していくのか、家族にできることは何か、老人ホームに入ったらどうなるのかなどを綴る。